

□ 情報提供項目

各種イベントなどを市長からお知らせした。

□ 記者との質疑応答

- 記者 株式会社F・O・インターナショナルがオンラインストアやもぐらんぴあで販売している、かめ吉の販売金額と種類を教えてください
- 市 税込み3,630円で、1種類である。サイズが小さく子ども向けで、かめ吉やもぐらんぴあのタグが付いている。防災リュックだが、中に普段使うようなおもちゃを入れていただき、何かあったときでも子ども自身が手に取り、避難所でも退屈せずに過ごせるようにと説明をいただいたことである。
- 記者 製作したものは5種類か。
- 市 連携事業者5社と開発いただいている。谷地林業が複数種類あり、炭のお守り消臭・吸湿は販売中。浄水用の炭は開発中である。
- 記者 今後、事業者を変えて行うことはあるのか
- 市 F・Oインターナショナルの「POP UP! NIPPON」の取り組み。まずは久慈市と取り組んでいただいております、今後は未定である。
- 記者 5事業所以外で展開することはあるのか。
- 市 一先ず、現在取り組んでいる事業者で終わる予定である。
- 記者 市として、災害に対する支援で決まっているものはあるのか。
- 市 日赤からの協力要請があり、募金活動を実施している。物資の支援は岩手県で本部を立ち上げたところであるので、調整を取りながら要請があれば対応したい。給水車が盛岡市から1台出したと聞いているが、追加の要請があればだす準備をしている。人の派遣要請があれば、前向きに取り組んでいきたい。
- 記者 募金はどちらで行うか。
- 市 久慈市として行う。職員や市内の企業に協力要請をしていくこととしている。
- 記者 実態がまだわからないもののがかなりあると思うが、市として津波避難対策や有事の際の取り組みの見直しや教訓にして取り組むものはあるのか。
- 市 今回の能登の地震津波で感じたのは、東日本震災と同じような状況がおきていると感じた。あのとき経験したことが能登の皆さんが直面していると思っている。能登を更に教訓にして市民の人に対して津波が来たら逃げる。地震があった時の家財の転倒に備え、家財のストッパーをお願いしているが、そういったものや耐震診断や補修工事などさらに呼びかけをしていこうと思っている。市の補助制度があるのでさらに市民の皆様をお願いをしていく必要があると思っている。
- 記者 広域の消防に対して要請がきているのか。
- 市 東京消防庁が動いているとは聞いているが、まだこちらまで来ていない。
- 記者 大谷グローブだが、久慈市内に届く予定はあるのか。
- 市 12月上旬に照会があり、すべての学校で要望したようだが、まだ回答がないようである。
- 記者 8月か9月に生成AIの実証実験だが、現時点でどのような状況か
- 市 実証で何か月かやってみたがそれほど利用がなく、導入に至っていない

